

登録コード	TOQ08900	開講年度	2026					担当教員	志津 千代子
授業科目	数学科指導法演習Ⅱ(16T以降)							副担当	
英文授業名								副担当	
単位数	1	講義期間	後期(後半)	曜日・時限	火曜・5時限			対象学生	
講義室	EW1-215教室			授業形態	演習	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー	非該当								
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】					⇔	【授業の達成目標】		
	2 3 Tカリ								
	【22T～】 様々な課題を見つけ取り組む力が身についている。					⇔	模擬授業を通して、板書・発問等の教師の学習への関わり方を分析・検討し、その結果を生かして生徒の状況に応じた授業展開ができるようになる。また、授業分析の手法を学び、それを模擬授業の実践に生かす中で、授業分析や教材分析を的確に行うことができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア								
(3)全学横断特別教育プログラム									
(4)授業の概要	グループ(10)ごとに立案した指導計画を基に模擬授業を行い、授業分析や教材分析を行うことを通して、体験的に授業実践力を養う。								
(5)授業計画	第1回：授業分析の手法を学ぶ 第2回：1、2グループの模擬授業と授業分析 第3回：3、4グループの模擬授業と授業分析 第4回：5、6グループの模擬授業と授業分析 第5回：7、8グループの模擬授業と授業分析 第6回：9、10グループの模擬授業と授業分析 第7回：授業設計における課題の明確化 第8回：指導計画の修正 後期後半の学びの振り返りをするために、授業の最後の15分間に授業アンケートを実施								
(6)成績評価の方法	模擬授業並びに授業分析のレポートを総合的に判断して評価する。								
(7)成績評価の基準	(i) 講義内容の理解 (ii) 当日に課された課題レポートの内容 (iii) 模擬授業への取り組みやその内容 (iv) 授業分析に関わるレポート (v) 発表(プレゼンテーション)の仕方 (vi) 積極性等の授業への取り組み状況 のいずれにおいても達成目標で想定したレベル以上であれば「卓越している」、5項目までできていれば「かなり上にある」、4項目までできていれば「やや上にある」、3項目までできていれば「合格水準にある」。								
(8)事前事後学習の内容	毎回の授業の最後に、当日の授業内容の理解を問う課題や次回の授業内容につながる課題を出す。次回の授業の冒頭で課題用紙を回収するので、しっかりと内容を吟味したうえで提出すること。また、模擬授業を行うにあたっては、事前に学習指導案や教材を何回も吟味・検討したうえで授業にのぞむこと。さらに、授業分析に関わるレポートは、一つ一つの項目について詳細に分析をしたうえで作成し、次回の授業の冒頭に提出すること。								
(9)履修上の注意									
(10)質問、相談への対応	講義時間の前後に講義室にて質問・相談を受け付ける。								
(11)その他									
【教科書】	中学校学習指導要領(文部科学省)・中学校学習指導要領解説「数学編」(文部科学省) 高等学校学習指導要領(文部科学省)・高等学校学習指導要領解説「数学編」(文部科学省)								
【参考書】									